

平成三十年八月十九日 北海道旭川（北海道第二）ひかりのやかた偉光会館開所に向けて

神 示

「希望の光」みちが通る心の姿を教えん

有限人生を悔いなきもの時代にするために

人は運命が導く人生を歩むことが必要

「教え」を学び 「人生」の軸に据えるなら

人は皆 運命に重なる人生が歩める

「道」を守りて 「光」みちが通るのである

運命実体が重ならず ぶつかり合うことが多い今日

「教え」を学ばず 日々歩む人は

実体を下げ 悩み 迷い 苦しみを深めている

政治 経済 教育 医療が 社会を守り 発展させているのではない

いつの世にも

人生を楽しむ人と 苦しみ 迷う人人々とが混在している なぜか

この世の仕組み 真実の姿を知ってごらん

この世は 神の手の中

運命実体が互いに重なり 補い合って回るが真実の姿

なれど 「真理」を欠き 知識 努力を頼って生きるがために

真理なき世の中にいて

人々は「夢」欠き 希望が見えないでいる

神が使者を通して 世社会に示す「教え」を 家族で学び

家庭に生かしてごらん

「光」みちが通り 運命が導く人生を歩んでゆける

ここに 「開運」かなう人生の姿がある